

## 福利厚生棟・講義棟起工式

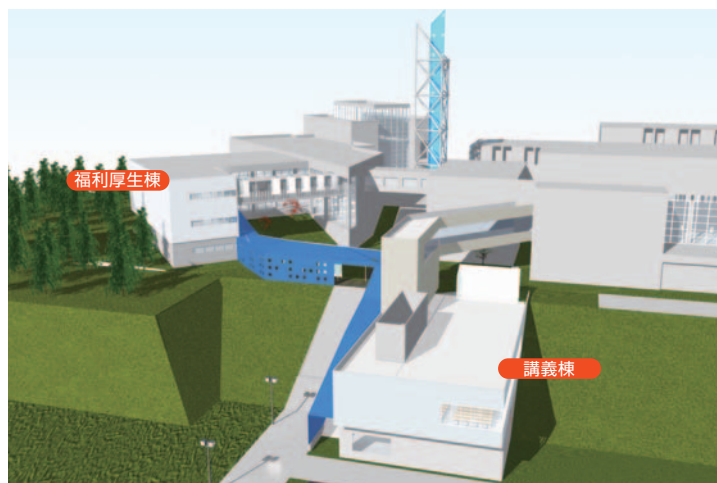
4月24日(火)に福利厚生棟及び講義棟の新築工事の起工式が行なわれました。

午前に行われた神事には本学関係者及び工事関係者約40人が出席し、工事の安全を祈願しました。

この建物は、大学院博士前期(修士)課程2年の櫻井希さん(私立新潟産業大学附属高校出身)が建築学科4年生の時にデザインしたものを基に建設されるも

ので、平成20年春の完成を予定しています。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070501\\_02.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070501_02.html)〕



▲完成予想図

## 環境科学科が誕生します

平成20年4月から「物質生物システム工学科」は「環境科学科」にリニューアルします。

「環境科学科」では、環境調和型の社会構造と技術社会システムの構築を目指した社会科学教育を含む文理一体の

環境教育を実施し、環境の技術者および環境に配慮したもののづくりの技術者を育成します。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070413\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070413_01.html)〕

## 学習支援センター開設

昨年9月より仮開設していた学習支援センターが、4月5日(木)に開所式を行い、本格的に始動しました。

センターには数学、化学、物理を担当する3人の先生が、学生の皆さんの学習に関する相談を受け付けています。高校で学習していないところ、授業で分からないところ、勉強の仕方がわからないなど、様々な質問に対応できる体制を整えています。

また、AO、推薦入試合格者への入学前指導も行います。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061013\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061013_01.html)〕



## CONTENTS

- 1 福利厚生棟・講義棟起工式  
環境科学科が誕生します  
学習支援センター開設
- 2 第13回工学部・第9回大学院工学研究科 入学式  
卒業式&修了式を挙行 -270名が新たな門出へ-
- 3 卒業・修了祝賀会  
就職内定率は96.7%——19年度の求人也好調  
合同会社説明会を開催
- 4 女子学生対象就職対策講座を実施

- 「柏崎に関する研究」発表会  
新しい「雪」利用の取組みについて学生が発表  
スキー実習(体育実技)
- 5 卒業生の職場を訪ねて①①
- 6 哈爾濱(ハルビン)理工大学学術交流団が来学  
駐日モンゴル国大使が来学  
「柏崎・上越産業界と新潟工科大学との産学交流会」を開催  
大金准教授が高専ロボコンの主審を務めました

- 7 地濃教授が柏崎商工会議所会頭から表彰  
地濃教授が東京で個展  
科目等履修生の募集について  
平成19年度公開講座始まる
- 8 学校法人新潟工科大学 理事長の交代のお知らせ  
退職教員のお知らせ  
教員表彰  
オープンキャンパスのご案内  
第12回工大祭についてお知らせ  
編集後記

## 第13回工学部・第9回大学院工学研究科 入学式

第13回工学部・第9回大学院工学研究科入学式が4月5日(木)、本学講堂において挙行され、学部233名(3年次編入生含む)、大学院工学研究科21名(博士後期課程1名、博士前期(修士)課程20名)が入学しました。

布村成具学長は式辞で「皆さんが選んだ『ものづくり』が社会の基盤を支えていることに大きな誇りをもって下さい」と呼びかけました。



午後からは新入生は全体ガイダンス、父母は新潟工科大学後援会総会並びに学科別ガイダンスに出席しました。

翌6日(金)には、新入生たちは市民プラザで行なわれた柏崎市、商工会議所、市内企業や有志による新潟産業大学と合同の新入生歓迎会に出席し、市民から温かい歓迎を受けました。歓迎会終了後には、コレクションビレッジまたは柏崎刈羽原子力発電所を訪れるミニツアーに参加しました。盛大な会を催していただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070405\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070405_01.html)  
[http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070406\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070406_01.html)

## 卒業式&修了式を挙行 - 270名が新たな門出へ -

第9回工学部卒業式・第7回大学院工学研究科修了式が3月21日(水)、本学講堂において挙行され、学部254名、大学院16名が社会へと旅立ちました。

式では、布村成具学長から各学科・専攻の代表者に卒業・修了証書が授与され、「これからの社会生活の中で、物事に判断を下さねばならない場合に遭遇します。その時、貴方の目標が判断の基準、或いは行動の規範として貴方を助けます。なるべく先の方、先の方に目標を持つように努力して下さい。前を見つめて、健康に注意して、確実に前進を続けてください」とはなむけの言葉を贈りました。

続いて、卒業生を代表して機械制御システム工学科の遠藤敬人さんが「新潟工科大学で培った知識や技術、そして弛まぬ努力を忘れず、新たな可能性を求めて邁進していきます」と、今後の飛躍を誓いました。また、修了生の代表として高度生産システム工学専攻の太津匡史さんは「本学で得た貴重な体験と教訓を胸に、工学を学んだ者として驕ることなく、常



に学ぶ謙虚な姿勢を忘れず社会へと挑み、貢献していきたい」と抱負を述べました。

(関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070321\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070321_01.html))

## 卒業・修了祝賀会

緊張感のある空気の中で行なわれた卒業・修了式とは違って変わり、終始笑いの絶えない賑やかな会となりました。布村学長の挨拶、ご来賓の祝辞に続き、卒業生代表の上谷徳大さん(建築学科)、博士前期(修士)課程修了生代表・齊木昌彦さん(自然・社会環境システム工学専攻)、博士後期課程修了生代表・田淵順さん(生産開発工学専攻)からそれぞれ感謝の言葉が述べられました。



お世話になった先生やご父母、苦楽をともにした仲間たちとの歓談、記念撮影を行ない、盛会のうちに終了となりました。

卒業生・修了生の今後の活躍に期待しています。

[関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070321\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070321_01.html)]



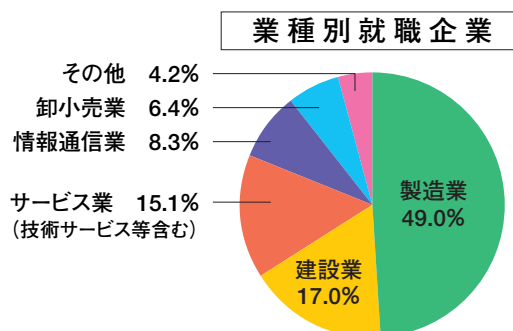
## 就職内定率は96.7% — 19年度の求人も好調

平成18年度の本学就職希望者は、卒業生の86.0%と、全国平均である71.8%(文部科学省調査平成19年2月1日現在)に比べ非常に高く、内定率も96.7%と開学以来9割を超える好調を維持しています。

平成19年度の状況ですが、前年度比4割増となった平成18年度のペースを上回り、多くの求人が寄せられています。昨年から続く企業の採用意欲の向上と、より広い範囲で求人活動を行う企業が増加したこと、新潟県内企業の求人早期化が大きな要因です。採用選考基準は相変わらず下がることなく、ある一定以上の能力を持った学生は、多くの企業から内定を取得している状況です。しかし、受験企業への明確な志望がない(有名企業だから受験など)、就職活動の準備が足りない(筆記試験や面接試験への対策をおろそかにしているなど)学生は、なかなか内定が取得できず苦戦しているようです。

就職活動にあたっては、自己PRの構築や各種試験対策など、周到的な準備が必要です。本学でも各種ガイダンスや個別相談でバックアップしていますが、学生本人の意欲が最も重要ですので、ぜひ明確な将来像を持ち、学生生活を送ってもらいたいものです。

学務課学生係



## 合同会社説明会を開催

平成20年3月卒業・修了予定の学生を対象とした合同会社説明会が2月14日(水)～16日(金)の3日間、本学講堂を会場に開催されました。

説明会は14日午前・午後、15日午後、16日午前・午後の5部構成で行われ、先端技術研究会会員企業、新潟工科大学産学交流会会員企業を中心に一昨年の153社を約80社も上回る232社の企業に参加していただき、本学への期待の高さが伺えました。

学生は各企業のブースを回り、会社概要や業務内容の説明を受け、自らも積極的に質問をしていました。

[関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070222\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070222_01.html)]



## 女子学生対象就職対策講座を実施

就職活動を控える学部3年生と大学院修士1年生の女子学生を対象に、女子学生対象就職対策講座が1月17日(水)に行われました。

にいがたキャリアサポーターの岡田美栄理事長を講師に迎え、女性が理系企業に就職するためのアドバイスを受けました。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070117\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070117_01.html)〕



## 「柏崎に関する研究」発表会

今回で5回目となる、「新潟工科大学・学生による『柏崎に関する研究』発表会(主催:柏崎商工会議所総合建設部会、社団法人新潟県建設業協会柏崎支部)」が2月27日(火)、柏崎商工会議所大研修室で行われ、学部、大学院の学生11組が地元柏崎の活性化に関して日頃の研究成果を発表しました。

会場には地元の建設業関係者や一般市民が大勢詰めかけ、急遽座席を追加するほどの盛況となりました。

学生の発表に先立ち、当発表会のまとめ役を務めた建築学科の地濃茂雄教授が「建てること、設えることの素晴らしさ」について記念講演を行いました。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070228\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070228_01.html)〕



## 新しい「雪」利用の取組みについて学生が発表

昨年12月9日(土)に十日町クロス10で開催された、「雪から学ぶ楽雪フォーラム2006」～学生による新しい「雪」利用の取組みと研究～に本学の学生が招待され、発表を行いました。

現在も、柏崎市鵜川において二重膜構造のテント型雪室を仮設し、実用化を目指した実験を行っています。

〔関連URL <http://www.esato.net/yukimuro/>〕

[http://www.pref.niigata.jp/chiikishinko/toukamachi/gakusetu\\_pr/index.html](http://www.pref.niigata.jp/chiikishinko/toukamachi/gakusetu_pr/index.html)〕



## スキー実習(体育実技)

体育実技のスキー実習が1月4日(木)から7日(日)の3泊4日の日程で、長野県飯山市の北竜湖スキー場において実施されました。

例年にない暖冬で雪の少ない中での実習となりましたが、初心者から経験者まで25名(1～4年次)の学生たちは、雪の感触を大いに楽しんでいました。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070123\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070123_01.html)〕



## 卒業生の職場を訪ねて⑪

### (株)富士通新潟システム

堀田 和典さん

情報電子工学科  
2002年3月卒業



堀田さんは、2002年3月に本学情報電子工学科を卒業し、(株)富士通新潟システムに勤務されています。平日はスケジュールの調整が困難であることから、今回は休日を利用して大学に来て頂きました。

聞き手：まず、現在の仕事の内容をお聞きしたいのですが。

堀 田：私は医療システム部に所属し、現在は新潟市で新しく開院される病院に関わる仕事をしています。皆さんはあまり気づかないかと思いますが、病院もサービスの質を高めるため、様々な経営努力を行っています。私どもでは、複雑・広域化する医療の現場で、そうした経営の支援、診療支援を行う情報システムの構築に取り組んでいます。

聞き手：医療分野に特化したシステムエンジニア（SE）ということでしょうか。

堀 田：はい。実際にシステムが稼働するまでには、顧客との打ち合わせ（企画）に始まり、設計、製造、試験（テスト）という工程を踏みます。入社して2年程までは主にプログラミング・テストを担当していましたが、5年目ともなるとプロジェクトの中核として1セクションを任されるようになります。システムの企画・設計が主な仕事です。

聞き手：やはり、病院患者さんのデータを扱うシステムですから、間違いがあってはいけませんからね。大変なプレッシャーの中で仕事をしていますね。

堀 田：システムを駆動させる数日前は、大変緊張し、正直眠れない日があります。決めるということ

（最終的な判断を迫られる）は、大変なストレスですね。

聞き手：ストレス発散のために心掛けていること、或いは何かしていることはありますか？

堀 田：仕事一辺倒だけではなく、他の趣味、興味を持つことは大切だと思います。最近、二輪免許を取得したので、今はバイクを探しています。でも彼女からは危険だからと反対されています…。

聞き手：その説得はなかなか手強いですよ。でも、貴方のその情熱が伝わっていつか解かってもらえると思いますよ。

最後に、今、仕事をする上で大切だなと感じられることは何でしょうか。

堀 田：まず、人に感謝する気持ちを忘れないこと。次に問題解決にあたるには、四六時中考えることを苦にしない、諦めないこと。そして打たれ強さですね。私も幾多の失敗を経験してきました…。

その後も様々な話題にふれ、彼の成長ぶりをいたる所を感じる事ができました。今後も健康に留意し、ますます活躍されることを期待しています。

（聞き手:情報電子工学科 准教授 佐藤栄一）



## ハルビン（ハルビン）理工大学学術交流団が来学

本学と学術交流に関する協定を結んでいる中国のハルビン理工大学から、李大勇副校長を団長とする学術交流団5名が昨年末に来学しました。

12月14日（木）には、学術交流懇談会、日中技術交流公開シンポジウム、学科別懇談会を実施し、両大学のさらなる交流に向けて、活発な意見交換を行いました。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061220\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061220_01.html)〕



## 駐日モンゴル国大使が来学

昨年12月6日（水）に駐日モンゴル国大使館から、レンツェンドー・ジグジッド特命全権大使が環日本海経済研究所のシャグダル・エンクバヤル研究員と共に来学し、布村学長と交流促進を図



るための意見交換を行いました。

午後からは、化学プロセス工学研究室、工場、図書館、情報通信ネットワーク研究室、計算機実習室、風洞実験室等の学内施設を視察しました。

モンゴルでは民主化後、私立大学が多くでき、現在は大学の質を向上させる取り組みを行っているとのこと、布村学長は「本学は小さい規模だが、その分小回りが利く。モンゴルにおいてもモデルになるのでは」と述べました。2006年は大モンゴル建国800周年であり、また2007年は日本との外交樹立35周年に当たります。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061213\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061213_01.html)〕

## 「柏崎・上越産業界と新潟工科大学との産学交流会」を開催

本学と柏崎市、上越市の産業界の3者による初めての産学交流懇談会を、昨年11月24日（金）に柏崎ベルナールを会場に開催しました。

本交流会は、開学以来交流を進めている両市との交流事例の紹介を通じて、本学を核に産学連携、企業間交流などの一層の前進を図ることを目的に開催されたもので、柏崎市、上越市の企業や両市役所・商工会議所、本学から約50人が出席しました。

〔関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061124\\_02.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061124_02.html)〕



## 大金准教授が高専ロボコンの主審を務めました

昨年11月26日（日）に両国国技館で行われた、「高専ロボコン」（主催：高等専門学校連合会、NHK、NHKエンタープライズ）全国大会で、機械制御システム工学科の大金一二准教授が主審を務めました。

大金准教授は、昨年6月にも国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「大学ロボコン（主催：NHK）」でも審判を務めており、今回が2回目となります。

〔関連URL

[http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061128\\_02.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061128_02.html)

<http://www.official-robocon.com/jp/kosen/kosen2006/index.html>〕



## 地濃教授が柏崎商工会議所会頭から表彰

建築学科の地濃茂雄教授は、これまで地域の建設技術教育に力を注いできました。その功績に対して、このほど柏崎商工会議所から会頭表彰を受けました。

同教授は本学開学当初から、地域発展のための建設研修の場を立ち上げ、以来、柏崎商工会議所における総合建設部会の技術研修に全面協力し、企画・運営・教授にあたっています。

この研修は毎年冬期の夜間に開講され、10年を経過した現在、延べ2,500人を超える現場技術者や市職員らが受講しています。

なお、同教授はラジオ放送を通じて科学知識の普及に貢献したとして、一昨年には新潟放送から社長表彰を受けたほか、新潟日報文化賞も受賞しています。



## 地濃教授が東京で個展

4月16日(月)～21日(土)の6日間、日本建築会館の建築博物館ギャラリーにおいて、地濃茂雄「建築・コンクリート・造形」展が開催されました。

日本建築学会賞、日本建築仕上学会賞、日本コンクリート学会賞などを受賞している地濃教授は、建築・コンクリートを手掛けて40年。これまでに解き明かしてきたコンクリートの子育て研究や素肌美人研究に基づき、生き物コンクリートの側面をパネルにより紹介するとともに、素材の質感によって創造されるコンクリート空間に対して、次代を見据えた命あるコンクリートの振る舞いを温もりや癒しの観点から創造した作品を展示しました。

次代の建築に向かっていくコンクリートのあり姿を提案したこの展覧会は、高い評価を得て、盛会のうちに幕を閉じました。



## 科目等履修生の募集について

平成19年度から、科目等履修生の検定料及び入学金を改定しました。今まで以上に入学しやすくなりましたので、入学を希望される方は、学務課 (TEL : 0257-22-8101, E-mail : kyoumu@adm.niit.ac.jp) へお問い合わせください。(入学時期は、4月又は10月となります。)

|     | (旧) | (新) |
|-----|-----|-----|
| 検定料 | 2万円 | 5千円 |
| 入学金 | 5万円 | 無料  |

※授業料については、1単位当たり2万円かかります。

## 平成19年度公開講座始まる

平成19年度公開講座 技術講座・実験編 前期「発酵と微生物」が5月9日(水)から本学を会場に始まりました。本講座は5月30日(水)まで全4回で行われ、納豆から納豆菌の分離やヨーグルトから乳酸菌の分離などの実験を行います。

また、今後の公開講座の日程は下記のとおりです。

★教養講座「激変する北東アジアの現況と将来をどう読む? ～新潟という『地方』から国際関係論のスコープを通して観る～」  
6月12日(火)～7月10日(火) (全5回)

★技術講座・講義編「豊かな長寿社会のつくりかた」  
～超高齢社会をより明るくするノウハウ～  
～新潟県立看護大学との提携プログラム～  
9月20日(木)～10月25日(木) (全6回)

★技術講座・実験編 後期「3次元CADを使った機械製図と模型加工」  
9月25日(火)～10月16日(火) (全4回)

## 学校法人新潟工科大学 理事長交代のお知らせ



学校法人新潟工科大学では、昨年12月21日付けで永井淳夫前理事長(日本精機株式会社相談役)が任期満了により退任し、後任に内田力理事(株式会社コロナ代表取締役社長)が理事長に就任いたしました。

内田新理事長の任期は平成20年12月21日までとなります。  
[関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061222\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061222_01.html)]

## 退職教員のお知らせ



平成19年3月31日(土)付けで、物質生物システム工学科の相衛教授が定年退職されました。相教授は、平成7年に本学の教授に就任し、12年の間、本学の発展にご尽力していただきました。

[関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070402\\_02.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070402_02.html)]

## 教員表彰

### 鉄道総合技術研究所創立20周年記念懸賞論文で入選

情報電子工学科の村上肇教授が鉄道総合技術研究所創立20周年記念懸賞論文を入選しました。昨年12月11日(月)に(財)鉄道総合技術研究所国立研究所講堂にて表彰式が行われました。入選論文名は「駅構内での携帯電話へのデータ伝送システム」でした。

[関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061215\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20061215_01.html)  
[http://www.rtri.or.jp/index\\_J.html](http://www.rtri.or.jp/index_J.html) (財団法人 鉄道総合技術研究所)  
<http://www.rtri.or.jp/press/h18/dec11.html>]



### 学術論文誌 Journal of Sound and Vibrationから、Most cited authorsの1人に出選

機械制御システム工学科の佐伯暢人教授は、Journal of Sound and Vibrationに掲載された論文に関して、Most cited authorsの1人に出選されました。

Journal of Sound and Vibrationは音響と振動に関する世界的に著名な論文誌の1つです。  
[関連URL [http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070213\\_01.html](http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20070213_01.html)]



## オープンキャンパスのご案内

- ・第1回 6月 9日(土) 工科大祭同時開催
- ・第2回 8月 5日(日)
- ・第3回 9月30日(日)
- ★場所/本学キャンパス
- ★時間/11:30~15:30
- ★内容/大学紹介、学科紹介、入試説明、個別相談、模擬実験体験
- ※時間、内容は予定です。詳細は入試広報課へお問い合わせください。

- ★無料送迎バス 新潟、長岡、直江津、柏崎の各駅から運行  
8/5は高崎、長野からも運行します。
- ★参加申し込み方法/電話・FAX・ハガキ・メール等により2日前までにお申し込みください。ホームページからも直接申し込みます。  
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地 入試広報課  
☎:0120-8188-40 FAX:0257-22-8226  
E-mail:nyuushi@adm.niit.ac.jp

## 第12回工科大祭についてお知らせ

皆さんこんにちは!!新潟工科大学・工科大祭実行委員です。

6月9日(土)に第12回工科大祭が行われます。今年も大変多くの企業様にご協力頂き、現在、順調に企画・進行中です。

イベントについては、お笑いライブ、料理コンテストなどを予定しています。学生をはじめ、多くのお客様にも楽しんでいただけるように実行委員一同、気合を入れて準備活動に取り組んでいきます。



また、年間を通して、スタッフを募集しています!!イベント好きな方はいませんか?私たちと一緒に工科大祭を盛り上げましょう!!やる気のある方大歓迎!!

私たちの委員会は先輩・後輩、男女協力し、楽しく活動しています。主な活動場所は食堂2階ラウンジ脇のクラブ室Eです。

興味のある方は是非一度遊びにきてください。話をするだけでも結構です。お待ちしております!!

## 編集後記

春は良いですね! 卒業の時期は寂しさもありますが、新たな旅立ちを迎えた学生の表情を見ると嬉しくなります。そして、入学式を迎え、新たな顔ぶれを前にして我々も気分も一新です。辺りを見渡すと、草木も芽吹き、身の周りの全てがザワザワと活気づいて大きく変化します。この春の様に、工科大学も環境科学科のリニューアルに向けて変化して行きます。(George.T)

## 発行

新潟工科大学広報誌 第12号  
平成19年5月20日  
新潟工科大学広報委員会

## 新潟工科大学

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地  
TEL.0257-22-8111 (代表)  
FAX.0257-22-8112  
E-mail:soumu@adm.niit.ac.jp  
URL:<http://www.niit.ac.jp>